

社会資本未来プラン

～戦略的な投資とマネジメントの最適化～

平成23年3月



社会資本未来プラン

《 目 次 》

I	プランの基本事項	1
1	プラン策定の趣旨	1
2	プランの期間	1
3	新たな広島県総合計画の概要	1
4	社会資本未来プランの基本構成	2
II	社会資本の現状とあるべき姿	4
II-1	社会潮流・本県の特徴	6
II-2	社会資本の現状	8
II-3	10年後の社会資本のあるべき姿	10
III	社会資本マネジメント方針	14
III-1	社会資本整備の重点化	16
III-2	社会資本ストックの有効活用	30
III-3	社会資本の適正な維持管理	33
III-4	3つのマネジメント方針を効果的に進めるための施策・イノベーション	35
IV	参考資料	
1	SWOT分析による戦略の構築	42
2	社会資本整備のプライオリティ（試行段階）	44
3	広島県の社会資本整備水準データ	46
4	用語解説	51

I プランの基本事項

1 プラン策定の趣旨

広島県では、おおむね10年後を展望して広島県の目指す将来像を示した「ひろしま未来チャレンジビジョン」を策定しました。

「社会資本未来プラン」は、「ひろしま未来チャレンジビジョン」が目指す県土の将来像を実現するため、土木局・都市局が担う今後の社会資本のマネジメントの基本方針を定めるものです。

2 プランの期間

プランの計画期間は、広島県総合計画「ひろしま未来チャレンジビジョン」が、おおむね10年後を展望して策定されたものであることから、10年間（平成23年度～32年度）とします。

3 新たな広島県総合計画の概要

新たな広島県づくりを推し進めるため、平成22年10月に策定した「ひろしま未来チャレンジビジョン」の概要は次のとおりです。

基本構成

おおむね10年後を展望し、現在本県が直面している課題や今後深刻な影響を受けるおそれがある問題に対して有効な手立てが講じられない場合に予測される将来を明らかにした上で、県民みんなで目指す姿（将来像）を描き、これを実現する取組の方向や戦略を示したものです。

基本理念

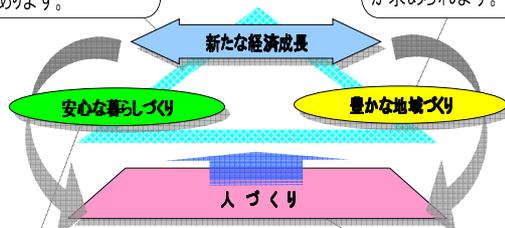
将来にわたって『広島に生まれ、育ち、住み、働いて良かった』と心から思える広島県の実現

目指す姿の実現に向けた4つの挑戦

「人づくり」、「新たな経済成長」、「安心な暮らしづくり」、「豊かな地域づくり」の4つの分野ごとに「目指す姿（将来像）」を掲げ、本県の「強み」を最大限に生かして様々な「挑戦」を行います。

人口減少の中で社会を維持していくには、イノベーションを通じて強い経済をつくり、魅力ある雇用を創出する必要があります。

地域の特性や資源を活用し、ほかにはない魅力を創出しながら、新たな活力を生み出していくことが求められます。



行政の第一の役割は、民間では難しい公共サービスの提供などにより、県民の暮らしの安心を確保することです。

経済、医療、福祉、教育など、あらゆる分野での力の源泉は「人」です。

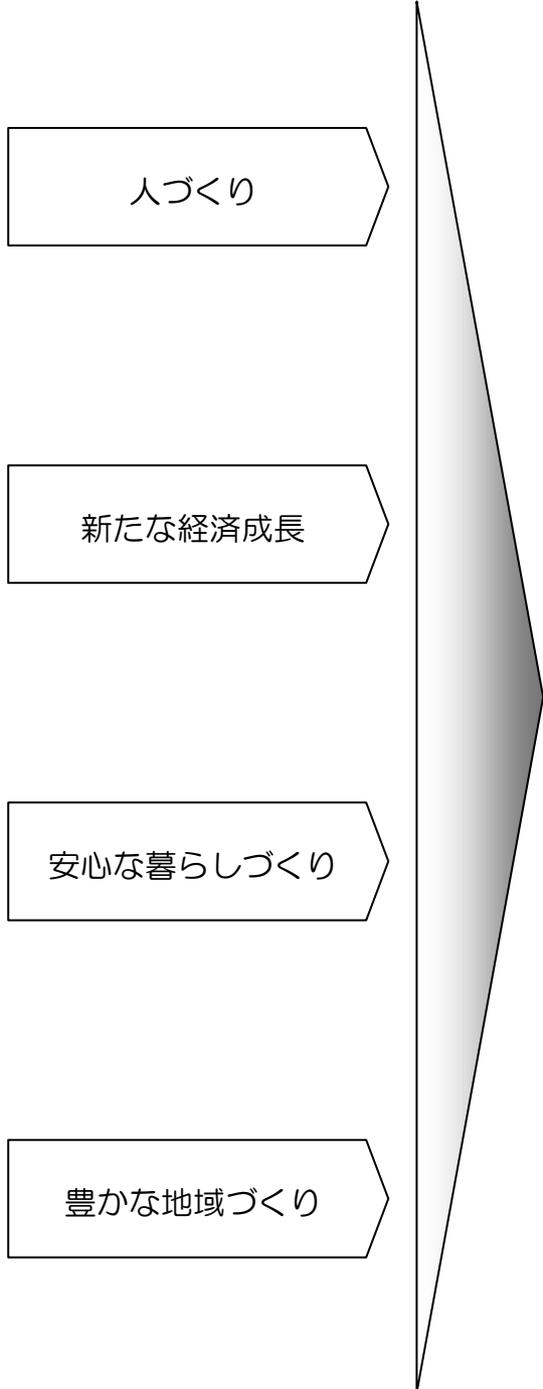
＜推進する上での視点＞

- 1 「強み」を生かした活力の創出
- 2 「イノベーション」による新たな価値の創造
- 3 「グローバル化」への的確な対応
- 4 「県民主体」の新たな広島県づくり
- 5 市町及び近隣県との「連携」

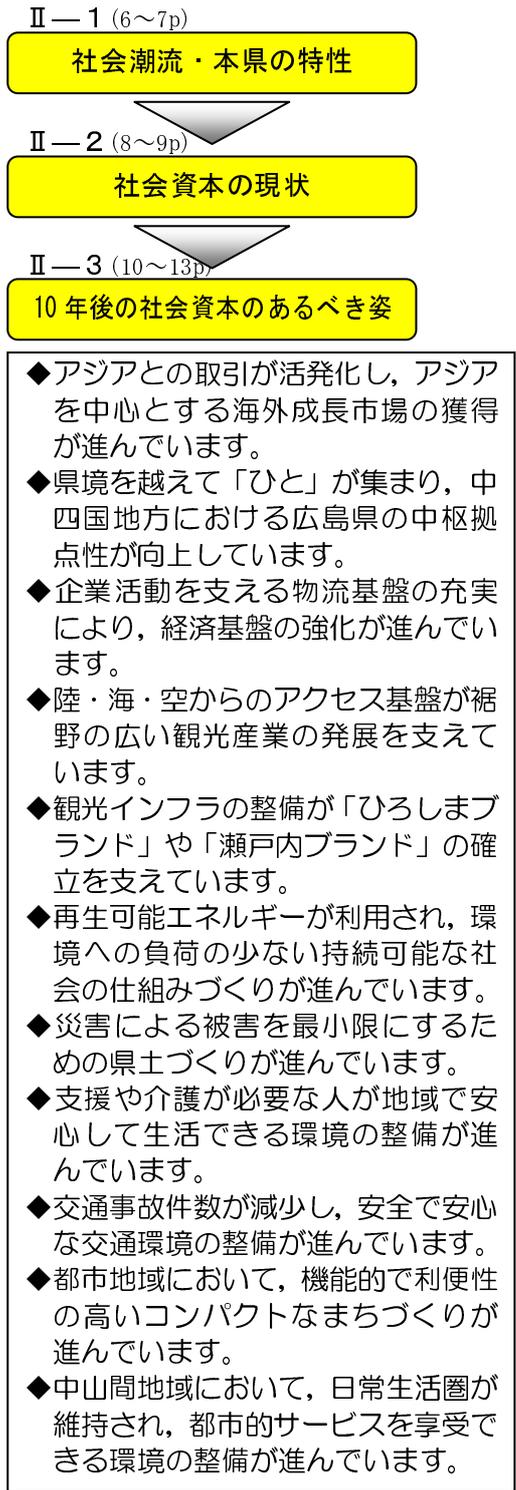
4 社会資本未来プランの基本構成



将来にわたって『広島に生まれ、育ち、住み、働いて良かった』と心から思える広島県の実現



～「ひろしま未来チャレンジ」



未 来 プ ラ ン ～戦略的な投資とマネジメントの最適化～

ビジョン」の実現を支えるための社会資本マネジメントの基本方針～

Ⅲ (14～15p)

社会資本マネジメント方針

Ⅲ— 1 (16～29p)

社会資本整備の重点化

◆広島県の底力を最大限発揮するための戦略的投資

- 強みを活かした短期集中戦略
 - ①広域的な交流・連携基盤の強化
 - ②集客・交流機能の強化とブランド力向上
- 社会ニーズに応じた中期戦略
 - ③環境保全と循環型社会の構築
- 創意工夫を加えた長期戦略
 - ④防災・減災対策の充実・強化
 - ⑤自立した生活ができる環境の整備
 - ⑥総合的な交通安全対策の推進
 - ⑦持続可能なまちづくり

Ⅲ— 2 (30～32p)

社会資本ストックの有効活用

◆施設の潜在機能を最大限発揮するための効果的投資

- 既存ストックの機能改善等
 - ・機能改善
 - ・運用改善
 - ・多目的利用
- ハードとソフト対策との一体的な取り組み
 - ・潜在機能を最大限引き出すためのソフト対策
 - ・ソフト対策による補完
 - ・規制緩和等による新たなまちづくりの推進

Ⅲ— 3 (33～34p)

社会資本の適正な維持管理

◆施設機能を適切に維持するための投資の最適化

- アセットマネジメントシステムを活用した維持管理計画の策定と推進
 - ・施設の長寿命化などライフサイクルコスト(建設・更新・維持管理の総費用)を縮減
 - ・LED道路照明灯の導入
- 新たな公との連携の推進
 - ・アダプト活動等の促進

Ⅲ— 4 (35～41p)

3つのマネジメント方針を効果的に進めるための施策・イノベーション

<p>コスト構造改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ■公共事業コスト構造改善プログラムの推進 	<p>多様な主体との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ■新たな公との連携の推進【再掲】 ■官民連携の推進 ■建設産業との連携 ■市町との連携の推進 ■社会資本マネジメントの総合調整 	<p>施策の点検</p> <ul style="list-style-type: none"> ■公共事業評価の推進 ■PDCAの推進 ■見える化の推進 	<p>事業ごとの整備計画の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ■整備計画の着実な実施 	<p>プライオリティーの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ■事業を超えた施策分野での優先度の設定
--	---	--	--	---



「強み」と「潜在能力」を最大限に活かし、最少の経費で最大の効果を発揮